

新年特別号

発行/広島県印刷工業組合 発行人/中本 俊之
広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954
URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : h.inkumi@estate.ocn.ne.jp

迎春



年頭所感

広島県印刷工業組合	理事長 中本 俊之
全日本印刷工業組合連合会	会長 臼田 真人

年男新春エッセイ

今谷印刷株式会社	蔵田 和雄
大東印刷株式会社	大東 弘典
モンデン化成株式会社	田頭 正芳
セイコービジネス株式会社	銭谷 康介

第4回常任理事会・第4回拡大理事会

生産性向上支援訓練(マーケティング志向の営業活動の分析等)

グリーンプリンティング認定制度説明会

2022全日本印刷文化典 広島大会 発足式

令和元年度永年勤続表彰

第15回 印刷産業関連業界親睦ゴルフ大会開催

夢メッセ 基調講演	加来 耕三
-----------	-------

福山支部だより

事務局だより

【広島東照宮】(広島市東区二葉の里)

皆さま、新年あけましておめでとうございます。

今年も「いんさつ広島」編集員一同、皆さまに身近な情報等をお伝えできるよう頑張りますので、どうかよろしく願いいたします。

写真は、今年も初詣客でにぎわう「広島東照宮」です。

「広島東照宮」は徳川家康公を御祭神にお祀りした神社です。家康公こうきよ薨去後33年忌にあたる慶安元年(1648年)、当時の広島藩主浅野光晟公(浅野家第四代)によって、広島城の鬼門(北東)の方向に当たる二葉山の山麓に造営されたものです。

二葉山山麓「七福神めぐり」の神社・お寺の一つでもあります。広島駅新幹線口より2時間足らずですべての社寺が参拝できますので、皆さまも一度挑戦してみたいかたがたでしょうか。

新年のご挨拶

— 2020年テーマ —

人が集まり笑顔をつなぐ幸せ産業へ

広島県印刷工業組合
理事長 中本 俊之



あけましておめでとうございます。

印刷業界ならびに関連業界の皆さまが健やかに新年をお迎えになられましたことを、心からお慶び申し上げます。旧年中は組合運営に格別のご支援とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。本年も昨年同様ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いたします。

さて、昨年、令和という新時代の幕を開けたわけですが、日本列島を襲う自然災害が昨年発生し、九州北部豪雨、台風 15 号・19 号ではわれわれの仲間である 7 つの工組も被害を受けました。今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催。今年こそ悲しいニュースではなく、日本代表選手の活躍による元気なニュースが駆けめぐると願います。

わが国では人口減少と高齢化が急速に進み「人生 100 年時代」に向けてさまざまな場面で「大変革」の覚悟が必要とされています。その一つが超スマート社会といわれる「Society 5.0」。IoT、ロボット、AI（人工知能）、ビッグデータなどの革新的な技術を産業や社会のあらゆる場面で活用することで新たな価値を生み出し、現代から未来にかけての課題解決を図って人々の暮らしをより豊かに便利に変えていこうというコンセプトです。われわれの業界においても、たとえば自社の生産現場に合ったロボットを導入して生産性を上げたり、原材料調達や製品納入などの各取引先や各プロセス間でデータ連携することにより効率化を図ったり、サプライチェーンのスマート化を図ることで恩恵が期待できます。Society 5.0 による変革は産業や社会と密に関わり、私たちの暮らしに大きな変化をもたらすでしょう。

このような時代に必要なのは「変化」を「チャンス」ととらえる姿勢。人口減少や高齢化は深刻な課題ですが、ただ思い悩んで下を向くだけでなく、現実と向き合い、どう対処するか、必要な変化を恐れずチャレンジすることで、これまで以上に素晴らしい価値がきっと見えてくるでしょう。明るいニュースが聞こえづらい印刷業界ですが、だからこそ創出できる価値もあり、変化することで成長するチャンスが見つかる信じて、前を向いて進もうではありませんか。常に「幸せ」に向かって立ち向かう人に、周りも共感し、幸せの連鎖がつながっていくのだと思います。

広島県工組も人と人がつながる力を最大限発揮し、一企業では困難なことも可能にして前進できる仕組みづくりに努めてまいります。組合員へのサポート体制が機能しているかどうかを随時振り返りながら、組合の「底力」を実感していただけるよう存在価値を高めていきたいと思ひます。

広島県工組ではビジネスチャンスを後押しする各種制度を整備しています。組合員価格で Adobe ソフトウェアを使用できるライセンスプログラムもその一つですが、事業立ち上げから 3 年目を迎え新たな契約内容で引き続きご利用いただけることになりましたので、ぜひご活用ください。

今年も 16 回目の印刷産業夢メッセを 9 月に開催する予定です。おかげさまで昨年も盛況に終わり今年につなげることができました。より一層、有意義な夢メッセとなるよう精一杯取り組んでまいります。

新年のご挨拶

全日本印刷工業組合連合会
会長 白田真人



新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は当連合会に格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、本年も一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年10月に開催いたしました「全印工連フォーラム」には、全国から300名を超える方々にお集まりいただき、全印工連事業をより一層ご理解いただくとともに、あわせて全印工連の団結力と協調を再確認することができました。これも偏に全国の印刷工業組合の役員、組合員、関連業界の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、印刷用紙価格の値上げ問題に始まり、改元、統一地方選挙・参議院議員選挙、G20サミット、ラグビーワールドカップ日本大会、そして消費税の増税と、次々と大きな出来事があった年でした。

このような中、全印工連では、ブランドスローガン「Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業～」を掲げ、全国の組合員企業の1社1社がHappiness Companyを目指すことを目的に、待ったなしの「働き方改革」を実行するため、そのプロセスを発信し、さらには、対内外の広報の強化や事業承継支援、環境労務対策、組合員および各種共済制度の加入促進、各種教育事業の実施、ダイバーシティ・マネジメントによる多様な人材の活用、CSR普及・啓発活動、資機材問題への対応、官公需対策、遠隔セミナーの実施等、個企業単独では取り組むことが難しい課題解決に努めてまいりました。

東京オリンピック・パラリンピックイヤーとなる本年も引き続き、当連合会のブランドスローガン実現に向け、中小印刷産業の向かうべき方向性を共有し、人々の幸せを作り続ける印刷産業を実現するための諸事業に取り組み、その中心事業となる「幸せな働き方改革」においては、総仕上げとなるSTEP4・5の完成と実行を着実に進めていきます。日本全国のHappiness Companyの集まりがHappy Industryへと繋がり、将来を担う若者たちが憧れ、夢を持つことのできる魅力的な産業となるよう、日本全国の組合員企業とともに、全印工連の大きな組織力を存分に活かした事業活動に全力で取り組み、全国の組合員企業の皆様のお役に立てるよう一層精進してまいります。

2020年が皆様にとって明るく希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。



年男新春エッセイ

「伝わる」を創造しながら、
次のコミュニケーションへ。

今谷印刷株式会社

代表取締役社長 蔵田 和雄

(昭和35年生)



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

さて私も、本年5回目の干支(子年)、ついに還暦の年を迎えることとなりました。我々が生まれた1960年(昭和35年)は、当時の池田内閣が打ち出した「所得倍增計画」により、日本経済は飛躍的に伸び、いわゆる高度経済成長期時代を迎えている頃でありました。その後時代の変遷と共に、我々印刷業界も大きく成長し、そして変化をしていった訳であります。

縁あって私がこの業界に入りましたのは、30歳を迎える頃でありました。それまでは食品業界、(株)明治屋(現・三菱食品)で勤務し、神戸支店、広島支店、そして福山営業所とそれぞれの勤務地での経験やお世話になった方々に、これまで随分助けられて来たと感じております。地元に戻り、異業種への転職ではありましたが、これまでやって来たのも、未熟な私を支えていただいた周りの方々のおかげであり、改めて感謝をする今日この頃です。

一昨年、当社は創業50周年を迎えました。活版印刷を事業の柱に創業し、地域の発展と共に歩み続けてきました。

その一方で私たちの業界を取り巻く環境は大きく変化をしてきました。デジタル化によるペーパーレス、インターネットの普及、そしてスマートフォンやタブレットによる情報メディアの進化など、一般的な印刷会社のイメージの枠にとらわれない、ボーダレスな総合情報企業を目指してゆきたいと考えております。

情報を提供するという私たちの仕事は、「伝える」という言葉に置き換えることができます。「伝える」は提供だけの意味になりますが、これを「伝わる」に変えれば、お客様の一人ひとりが共感して、情報を共有す

る意味に深化させることができます。

当社も提供するだけの事業から、共感・共有いただける情報提供を目指す、IMATANI・コミュニケーションの理想を追求していきます。

今谷印刷には、もう一つの事業の顔があります。ドコモショップの店舗運営等を手掛ける携帯通信事業です。中国移動通信網株式会社(現・NTTドコモ)と代理店契約を結び、平成6年に事務所の一部を改装してスタートをしました。当時の取扱いは、ポケットベルが大半で、携帯電話の契約には、預託金が必要な時代でした。当然、事業として採算の取れる状況ではなく、印刷部門の営業の仕事しながら兼務でこなす日々でした。

その後、誰もが想像できなかったスピードで携帯電話が普及し、携帯端末の進化・発展は目覚ましいものでした。そして昨今のスマートフォンの普及は、情報通信端末としての機能だけではなく、世の中のあらゆる物や情報を動かし、ライフスタイルを変えてゆく革新的でハイスペックな端末に進化してゆくでしょう。

創業以来の印刷・広告事業と、これからの豊かな暮らしに不可欠な携帯通信事業。この両部門の融合と連携を模索し、そのシナジーこそが、次世代での一役を担うものと確信しております。

元号が、昭和・平成そして令和へと変わり、2020年東京オリンピックが開催され、私にとっては還暦元年! 節目の年として、記憶に残る年にしたいと思います。

今年一年、皆様の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

年男新春エッセイ



還暦を前にずらずら思うこと・・・

大東印刷株式会社

代表取締役 大東 弘典

(昭和35年生)



昨年10月の下旬に組合事務局から掛かって来た一本の電話、「もしもし、大東さん？貴方来年還暦を迎えられるのでいんさつ広島新年号に記事を書いてくださいね。」「還暦？何、僕もう60才になるんか・・・」正直自分が還暦になることを意識したのはこれが初めかもしれません。昭和35年生まれ、60才は立派なお爺さんで、当時還暦といえば明治33年生まれ、何と日露戦争や第1次世界大戦の前であるから当たり前話であります。改めて「還暦」を意識して自分の残った時間にラストスパートをかけるといった大袈裟な考えはさらさら無いけれども、折角こうした機会をいただいたので、ずらずらと駄文を書いてみたいと思います

昨年秋、大学のクラブ(相撲部ではありません、ハイ)の同窓会があり、10年ぶりに同期8人が集まる機会がありました。10年ぶりといってもそこは4年間同じ釜の飯を食べた仲間、最初は少しぎこちなく始まってもすぐに打ち解け昔話を花を咲かせたのですが、そこで知ったのはその多くが既に定年退職をしており、今は再雇用もしくは子会社に再就職しているという事実でした。彼らが浪人して入学したため年上なのは当然のことではありますが、学生時代には学年はあっても年齢を意識したことが無かったので今更ながら驚いたのです。(さらに付け加えれば、磯野浪平風のピカピカ頭が3名おり、ここ最近頭髪の薄さを気にする僕にとっては優越感に浸る時間でした。)

またこの文章を書いている11月末に、年賀の欠礼状が例年にも増して届いてきていることに気がきました。その大半が親御様のご不幸によるもので、思えば、友人知人の多くが還暦を迎え、恐らくご両親は90歳近くになられるため自然の流れとはいえ改めて還暦というものを感じた次第です。

閑話休題、皆さんは「ゴルフ侍」という番組をご存じでしょうか？これは各地のゴルフ場のクラブチャンピオンとプロゴルファーが9ホールをマッチプレイで勝負するという、とてもユニークな企画で、僕はこの番組の大

ファンで、ここ3年間ほぼ毎週欠かさず見えています。対戦結果はアマチュア50勝に対しプロは250勝と圧勝していますが、この番組を通し、最近ふと気付いたことがあります。それは片手シングルと呼ばれるトップアマチュアでもパーオン率は50%、プロでも60%、つまり9ホールの内4～5ホールはどちらも何かのミスショットで失敗をしているという事であり、勝負の大きな要因はアプローチとパターにあるという事です。アマチュアの多くが100ヤード以内のアプローチが10～15ヤード(これでも十分凄い)なのに対しプロは5～7ヤードもしくはOKに寄せてしまいます。また、どんな難しいラインでもプロが3パットをするという事は減多になく、結果的にホールアップした時にはプロはバーディーもしくはパー、アマチュアはパーあるいはボギーとなり、勝負が決まってしまうのです。この番組の凄いところは、ゴルフというスポーツの奥深さ、つまり300ヤード飛ばすドライバーや180ヤード打つ7番アイアンよりもグリーン近くの最後のショットでそのホールの明暗が決まることを如実に示してくれることだと感じています。「最近飛ばんようになった・・・」とお悩みのゴルファーの皆さんも是非一度ご覧になってみては如何でしょうか。

考えてみれば人生100年とまでは言わないけれど、平均寿命が80歳を超えた現在、60歳を迎える僕はゴルフで言えばまだまだティーショット、セカンドを終えたばかり、多少失敗があってもアプローチ、パター次第でまだまだボギーいやパーを取ることができるかもしれません。僕も経営者の端くれである以上、多くの同級生のように定年を迎え会社とオサラバ、後は楽隠居となることはないでしょう。だからこそ稀代の彫刻家、平櫛田中の言葉「60、70は鼻たれ小僧、男盛りは100から、100から」を肝に銘じてこれからも自分自身の人生を前向きに切り拓いて行きたいと思っています。

年男新春エッセイ



これからも挑戦は続く……

モンデン化成株式会社

代表取締役社長 田頭 正芳

(昭和47年生)



新年、明けましておめでとうございます。
旧年中は、皆様方には大変お世話になりました。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年で48歳を迎える年男の私ですが、人生の約半世紀を過ごして、ふと今までを振り返ってみました。

先代の社長より、社長職を引き継いだのはちょうど十年前のことでした。それまでは、社員として社長と共に新しい挑戦に向け、何事にも情熱を注いで参りました。同業社の方たちとの繋がりも、その頃からずっと大切にさせて頂いておりました。先代社長が突然の病に倒れた時、その方々との繋がりが私の背中を後押ししてくださって今に至ります。思い起こせば、何も分からない私が社長に就任したその頃は、無我夢中の毎日でした。

分からないなりに、初めは私の得意分野から仕事の視野を広げようと考えました。幼少の頃、寝ても覚めてもサッカーに明け暮れたサッカー少年でした。小学生からはじめ、中学高校とプロサッカー選手を目指し、いつかはオリンピックにも出場したいと大きな夢を抱いていたものです。プロの選手になり活躍することは叶わぬ夢でしたが、審判員の資格を持ちプロと同じピッチに立つことが出来たことは、私にとって小さな自慢です。また、今でも選手としてシニアチームに属しサッカーを楽しんでいます。

スポーツに携わる立場から、喜ばれる記念グッズがあったらと考えオリジナル商品を開発して参りました。幸運にも、いろいろな方々との出会いから、広島東洋カープのスライダーポーチをスタジアムで販売することになったのです。毎年、新しいデザインを社内全員で考え、カープ好きの意見もたくさん取り入れながら試行錯誤して作り上げてきました。おかげさまで、こ

の商品をきっかけにモンデン化成(株)をより多くの方々に知ってもらうチャンスを得た気がします。社長として、大きな一歩を踏み出したと感じる出来事でした。自分の好きなことと結び付けられる、こんな素晴らしい仕事は社長ならではの喜びです。

そして、何といたっても今年は待ちに待った2020年東京オリンピックが開催されます。少年の頃からずっとサッカーに打ち込み、現在も審判員やシニアでプレーしている私にとって、この東京オリンピックはとても楽しみでなりません。出来ることなら、実際に会場へ足を運びこの目で試合を観戦し感動を共有してみたいものです。

これから人生、すてきな方々との出会いと、またどのような発見があるのだろうかと思うと胸が高鳴ります。さらにいろいろな経験を得て、新たな商品を生み出しつづけたいと考えております。

私自身の挑戦は、まだまだ続きます。



年男新春エッセイ



年男の役目

セイコービジネス株式会社

銭谷 康介

(昭和47年生)



新年明けましておめでとうございます！

皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。本年もどうぞ宜しく願い申し上げます。4回目の年男を迎えるにあたり、そろそろ仕事の事と同時に自分の体の事も気にしていかなければと思っていました所、寄稿の機会を頂き、私でよろしければと喜んで引き受けさせて頂きました。

新年が明けまして、よく「今年は年男なので・・・」などのセリフを聞くことがありますめでたいイメージがある年男ですが具体的にどの様な意味や縁起があるものなのか改めて考えますが、一般的には神様のご加護を多く受ける事ができるですとか、昔から年神様に1年の平穏や豊作を願う、等々言われております。もし今年一年、他の十二支より多く年神様の力を頂けるのであれば私自身としましてもツイてると勝手に解釈しながらこの1年間が特別な様に思い、新しい事にチャレンジしたくなる気持ちにさせてくれます。

さて、私がこの業界に入ったのが1993年、特にこの業界に興味があった訳ではありませんが、学校にある求人票を見た際、会社の設立年が私の生まれ年であった事から何か引かかるものを感じ、応募に至りました。企業訪問、面接の際、求人票に色覚異常不可と明記されているにも関わらず、それを確認された際、私は軽度の色覚異常があることを伝えた所、当時の面接官が目を丸くし、よく印刷会社に来てそれを言いましたねと失笑され、正直だという理由で内定を頂いた事を後になって聞かされました。本当のところは採用条件を私がよく見ていなかっただけなのですが・・・。若かったのか先の不安も全く感じる事無く春を迎え縁あって私と同年である会社に入社し社会人としてスタートしました。

振り返りますと入社してからは製造部に配属され、やれどもやれども仕事は減らない日々を過ごし、当時の上司からこれからは一つの事しかできないのでは駄目だ、多品種少量生産あるいは大量生産の為に何でも出来なくてはならない(つまり単能工ではなく多能工であれ)との理由で、各部署、各機械を触らせて頂きました。

当時パワー・ハラスメントなどとゆう言葉すら無い時代に帰りたいのに帰れない、休みたいのに休めない、

お給料を頂き、遊びたい盛り頃の頃、反発をした所で個人の都合など通用するはずもなく、みっちりしごかれた事が体に沁み込み、仕事とはこうゆうものなのだ、という土台を作って頂いた事に今振り返りますと大変感謝しております。

1999年から営業職に異動になり180度環境が変わりました。2度の東京への単身赴任も経験させて頂いて多くの方との出会いがありました。そんな中、印刷工業組合青年部会を始めとする各団体へ入会させて頂き、また多くの皆様方とのつながりができ、縁が縁を引き寄せる様な貴重な経験を積みさせて頂きましたと同時に多くの知識も得る事ができました。青年部会に入会し十数年以上経過しておりますが未だ自分の経験不足、勉強不足を痛感します。今年はいよいよ多くの事を知る事、興味を持つ事を意識し社業の発展に努めて参りたいと考えております。

当たり前の事ですが企業が存続する為には事業の価値が世間の方々に認められ、世の役に立つ事が大前提だと思います。ただ世の中は常に変化しています、従来もはやされていた物が新技術の出現により衰退していく例や、喜ばれていた物が一旦不況になると目もくられなく等々、めまぐるしく様変わりします。不透明な環境にありますが、厳しい理由を世間や他人のせいにして努力を怠るよりも、常に世の中の変化に合わせて自らの役立ち方を変えていける様意識し、決して他人を蹴落として自分だけが良ければという考え方を持つのではなく業界各社が協力しあいながら共倒れではなく共に発展して行ける業界になれる様多方面への働きかけや活動が出来る1年にしたいとも思います。

ねずみは神様が干支を決める際、一番早く神様の家にたどりついた牛の頭に乗れ、牛が家に着いた途端に飛び降り、1番に神様の元へ向かったと子供の頃、祖父から教わった記憶があります。そのずるがしこさ！？はマネが出来ませんが、工夫や知恵の面では大いに見習うところがあります。そんなアイデアを出しながら、変化の流れに対応し地方でも情報発信産業としての発信地となりうる様目標に向かっていけば必ず業界にも光明がさしてくるのではないかと期待します。

最後になりますが印刷業界、印刷関連業界、又関連団体に関わられる皆様のご健康、ご発展を祈念し、新年のご挨拶とさせて頂きます。

あけましておめでとうございます

令和2年元旦

<p>アート印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 細川 俊介</p> <p>福山市南本庄1丁目10-38 〒720-0077 電話(084)924-5588</p>	<p>株式会社 アドプレックス</p> <p>取締役社長 隅川 通治</p> <p>広島市中区舟入南1丁目1-18 〒730-0847 電話(082)232-4286</p>	<p>株式会社 石井印刷所</p> <p>代表取締役社長 石井 千之明 専務取締役 原田 明</p> <p>東広島市西条岡町9-17 〒739-0016 電話(082)423-2173</p>
<p>イチカワ印刷株式会社</p> <p>代表取締役 市川 哲也</p> <p>府中市元町422-2 〒726-0003 電話(0847)45-4358</p>	<p>今谷印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 蔵田 和雄</p> <p>東広島市西条町寺家6608 〒739-0041 電話(082)422-2714</p>	<p>株式会社 インパルスコーポレーション</p> <p>代表取締役社長 後藤 智治</p> <p>広島市安佐南区相田1丁目16-27 〒731-0141 電話(082)878-6000</p>
<p>大東印刷株式会社</p> <p>代表取締役 大東 弘典</p> <p>三原市皆実4丁目5-30 〒723-0052 電話(0848)62-3389</p>	<p>有限会社 加計印刷</p> <p>取締役社長 大倉 啓司</p> <p>山県郡安芸太田町大字加計3444-1 〒731-3501 電話(0826)22-0568</p>	<p>株式会社 呉精版印刷</p> <p>代表取締役社長 高山 順子</p> <p>呉市築地町5-4 〒737-0822 電話(0823)22-5011</p>
<p>株式会社 原色美術印刷社</p> <p>代表取締役社長 田尾 直也</p> <p>広島市西区商工センター7丁目5-48 〒733-0833 電話(082)277-3030</p>	<p>佐々木印刷株式会社</p> <p>代表取締役 佐々木 孝朗</p> <p>三次市東酒屋町306-55 〒728-0023 電話(0824)62-3539</p>	<p>有限会社 新洋社印刷所</p> <p>代表取締役 島田 星平</p> <p>広島市西区観音町4-14 〒733-0031 電話(082)232-3348</p>
<p>瀬戸内海印刷株式会社</p> <p>社長 大田 恒三</p> <p>広島市佐伯区石内北5丁目1-8 〒731-5109 電話(082)554-5500</p>	<p>株式会社 Taisei</p> <p>代表取締役 吉岡 ゆかり</p> <p>本社 広島市安佐南区祇園3丁目24-17 〒731-0138 電話(082)875-3232 東京営業所 東京都千代田区霞ヶ関1-4-1日土地ビル2F 〒100-0013</p>	<p>中国印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 岡 畠 鉄也</p> <p>廿日市市大野387番地3 〒739-0422 電話(0829)50-2838</p>
<p>有限会社 トータルワーク</p> <p>代表取締役 大道 綾彦</p> <p>広島市西区中広町2丁目24-5 サンコーポ中広205 〒733-0012 電話(082)234-2133</p>	<p>中川印刷株式会社</p> <p>会長 中川 仁 代表取締役社長 中川 隆</p> <p>広島市西区横川町2丁目8-5 〒733-0011 電話(082)291-3841</p>	<p>株式会社 中本本店</p> <p>代表取締役 中本 俊之</p> <p>広島市中区東白島町13-15 〒730-0004 電話(082)221-9181</p>
<p>株式会社 ニシキプリント</p> <p>代表取締役 宮崎 真</p> <p>広島市西区商工センター7丁目5-33 〒733-0833 電話(082)277-6954</p>	<p>株式会社 沼田総合印刷</p> <p>代表取締役 丸林 智行</p> <p>広島市安佐南区沼田町阿戸657-1 〒731-3271 電話(082)839-2500</p>	<p>有限会社 花田印刷所</p> <p>代表取締役 花田 一弘</p> <p>広島市中区光南6丁目2-6 〒730-0825 電話(082)243-2062</p>
<p>広島中央印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 田村 治重</p> <p>広島市中区国泰寺町1丁目5-18 〒730-0042 電話(082)241-9291</p>	<p>有限会社 広島入力情報処理センター</p> <p>代表取締役 玉野 佳子</p> <p>広島市東区矢賀新町1丁目6-14 〒732-0044 電話(082)510-1511</p>	<p>株式会社 広瀬印刷</p> <p>代表取締役 瀬尾 淳</p> <p>広島市西区中広町3-3-12 〒733-0012 電話(082)232-2238</p>

あけましておめでとうございます

令和2年元旦

<p>二葉印刷有限会社 代表取締役社長 浅田英史 本社 福山市霞町3丁目4-26 〒720-0812 電話(084)922-4785 工場 福山市山子町5丁目29-19 〒720-0092 電話(084)951-2124</p>	<p>株式会社 文化社 代表取締役 重本正哉 広島市西区商工センター7丁目5-56 〒733-0833 電話(082)277-2661</p>	<p>平和印刷株式会社 代表取締役社長 河上誠司 庄原市板橋町324-7 〒727-0014 電話(0824)72-1145</p>
<p>松本印刷株式会社 代表取締役 松本仁志 廿日市市下の浜 5-12 〒739-0433 電話(0829)55-2290</p>	<p>明生印刷有限会社 代表取締役 青木博 広島市中区舟入川口町18-19 〒730-0845 電話(082)231-9778</p>	<p>モンデン化成株式会社 代表取締役 田頭正芳 福山市神辺町道上2891-1 〒720-2104 電話(084)960-0345</p>
<p>株式会社 ユニックス 代表取締役社長 宇都宮公德</p>	<p>株式会社 ユニバーサルポスト 代表取締役社長 喜瀬清 広島市西区商工センター7丁目5-52 〒733-0833 電話(082)277-5588</p>	<p>金正印刷株式会社 代表取締役 薬師寺尚志 広島市南区段原南1丁目27-7 〒732-0814 電話(082)253-3301</p>
<p>株式会社 三丸シール印刷 代表取締役 須寄竜二 広島市中区舟入川口町2-35 〒730-0845 電話(082)232-5469</p>	<p>三和総合印刷株式会社 代表取締役 近江弘至 福山市曙町6丁目1-11 〒721-0952 電話(084)953-1969</p>	<p>重田印刷株式会社 代表取締役 重田耕作 府中市本山町10530-229 〒726-0001 電話(0847)41-2226</p>
<p>至誠堂印刷株式会社 代表取締役 國光俊博 広島市中区猫屋町 8-26 〒730-0852 電話(082)232-6111</p>	<p>セイコービジネス株式会社 代表取締役社長 宇都宮公德 呉市郷原町4010-11 桑畑工業団地 〒737-0161 電話(0823)77-1122</p>	<p>有限会社 泰平紙業 代表取締役 角野壽男 広島市西区商工センター7丁目5-29 〒733-0833 電話(082)277-4301</p>
<p>東光印刷株式会社 代表取締役社長 小倉裕巳 広島市西区商工センター7丁目5-15 〒733-0833 電話(082)501-0780</p>	<p>株式会社 ハイマン インターナショナル 代表取締役 ハイマンブライアン 福山市南本庄2丁目4-27-102 〒720-0077 電話(084)928-3544</p>	<p>広島印刷株式会社 代表取締役 小下恵壮 広島市西区商工センター7丁目5-4 〒733-0833 電話(082)277-6050</p>
<p>株式会社 ひろみ 代表取締役 増原智子 広島市安佐南区長束5丁目5-10 〒731-0135 電話(082)237-1687</p>	<p>福山エビス印刷株式会社 代表取締役 小田芳正 福山市東川口町1丁目5-5 〒720-0821 電話(084)954-2200</p>	<p>株式会社 ポップジャパン 代表取締役社長 熊本卓司 広島市安佐南区伴南2-5-19-26 〒731-3168 電話(082)811-8500</p>
<p>株式会社 有文社 代表取締役社長 中野博文 相談役 平地睦則 広島市中区光南3丁目5-6 〒730-0825 電話(082)246-1191</p>	<p>レタープレス株式会社 代表取締役 増田達朗 広島市安佐北区上深川町809番地の5 〒739-1752 電話(082)844-7500</p>	<p>謹賀新年 本年もよろしくお願ひいたします 令和2年 元旦 広島県印刷工業組合 事務局</p>

「役員会レポート」

第4回常任理事会・第4回拡大理事会

11月27日(水)午後1時から、印刷会館において第4回常任理事会が行われ、続いて午後2時から第4回拡大理事会が行われた。

【第4回常任理事会】(出席者:6名)

【第4回拡大理事会】(出席者:22名)

はじめに、中本理事長から、14日に開催された全印工連の理事会報告が以下の通りあった。

1. 喜瀬理事顧問が秋の叙勲で「旭日双光章」を受章された旨の報告があった。
2. 我々印刷業界の発展のため、経済産業省からのアンケート「印刷産業における取引環境実態調査」および例年実施されている全印工連のWeb調査「令和元年度印刷業経営動向実態調査」に協力をお願いする。
3. 台風による被災等の諸事情により、「がんばろう長野」の意味合いを込めて、来年開催される「2020全国印刷文化典長野大会」の開催場所が長野市に変更となり、あわせて開催日も10月9日(金)、10日(土)に変更となった。

その後、議題にそって夢メッセの入場券販売実績報告や12月6日に開催する「2022全日本印刷文化典広島大会」の発足式の運営等を事務局が説明し、広島大会のキャッチフレーズ『真っ赤に燃やせ!印刷魂～水の流れが大地を創る。人の心が未来を開く。～』について中本理事長より紹介があった。

【議題】

- (1) 2019印刷産業夢メッセ実施報告について
- (2) 「いんさつ広島」年賀広告掲出のお願いについて
- (3) 新年互礼会ご案内について
- (4) 喜瀬理事顧問の受章について
- (5) 2022全日本印刷文化典 広島大会について

生産性向上支援訓練講習

～マーケティング志向の営業活動の分析と改善～

令和元年11月22日(金)、23日(土)、29日(金)、30日(土)の四日間にわたり、東京から講師を迎えて計21時間におよぶ講習会が広島印刷会館で開催され、32名が参加した。

内容:マーケティングの本質とマーケティング志向の営業活動

グリーンプリンティング(GP)
認定制度概要説明会

日本印刷産業連合会より、小野常務理事、小野里グリーンプリンティング認定事務局・審査員のお二人を講師とした概要説明会が開催され、会員17社が参加した。開催日時:令和元年11月27日(水)の15時～17時
開催場所:広島印刷会館 2階会議室

内容:グリーンプリンティング(GP)認定制度の概要説明



2022全日本印刷文化典 広島大会 発足式

令和元年12月6日(金)に広島ガーデンパレスにおいて、午後6時30分より、「2022全日本印刷文化典 広島大会」の発足式が、108名の出席者が集い盛大に開催されました。

中本理事長から、「全日本印刷文化典が約半世紀ぶりに広島で開催されることになりました。キャッチフレーズは、皆が考えた結果『真っ赤に燃やせ!印刷魂』、水の流れが大地を創る。人の心が未来を開く。としており、広島らしさを前面に打ち出し、元気な広島を全国に届け、全国を勇気づける大会にしたい。そのため、本日本お集まりいただいた方々の力添え、ご協力なしには大会が成功裏に終えることができないので、是非ご協力ください。」と挨拶があった後に開宴した。

続いて、大会組織委員ならびに実行委員会の紹介が行われ、宇都宮実行委員長の乾杯で発足式が進み、歓談等の後に岩橋中国印刷機材協議会理事長の挨拶、一本締めで発足会が盛況の中、閉幕した。



令和元年度 永年勤続表彰 受賞者の皆さまおめでとうございます

令和元年度の永年勤続表彰が11月23日付けで実施され、勤続30・20年の被表彰者には臼田真人全印工連会長・中本俊之県工組理事長連名、勤続10年の被表彰者には中本俊之県工組理事長名で表彰された。

今後も引き続き健康に気を付けて頑張ってください。受賞者は次のとおり

勤続30年表彰 15名

- ◆尾方 公一 〈株式会社インパルスコーポレーション〉
- ◆向殿 光政・山口 和弘・井内 要・川津 晴清
以上4名 〈イケダ株式会社〉
- ◆塚田 理絵 〈瀬戸内海印刷株式会社〉
- ◆荒木 雅晴・成田 辰之・藪添 辰夫・藤谷 敏・松見 芳彦
以上5名 〈セイコービジネス株式会社〉
- ◆市川 修二 〈有限会社安田印刷所〉
- ◆金居 健次・廣田 渉志・山田 秀美
以上3名 〈佐々木印刷株式会社〉

勤続20年表彰 12名

- ◆甲田 宏美・辰見 敏彦・中本 和彦
以上3名 〈株式会社沼田総合印刷〉
- ◆磯淵 恵 〈株式会社中本本店〉
- ◆塩谷 美樹・目次 覚
以上2名 〈株式会社インパルスコーポレーション〉
- ◆上原 健吾・草場 理恵子・福重 美保子・原田 栄子
以上4名 〈イケダ株式会社〉
- ◆川中シノブ 〈セイコービジネス株式会社〉
- ◆大屋 卓郎 〈平和印刷株式会社〉

勤続10年表彰 9名

- ◆笠間 淳司・藤川 秀和 以上2名 〈可部印刷株式会社〉
- ◆松浦 直樹 〈株式会社中本本店〉
- ◆重廣 佑貴・小林 和幸
以上2名 〈株式会社インパルスコーポレーション〉
- ◆葛谷 年洋・河野 正宏・岩本 達典・溝之 誠
以上4名 〈イケダ株式会社〉

第15回印刷産業関連業界親睦ゴルフ大会開催

10月30日(水)、鷹の巣ゴルフクラブで印刷産業関連業界親睦ゴルフ大会に26名が参加、当日は秋晴れの好天に恵まれ絶好のゴルフ日和でした。

午前9時45分、宇都宮運営委員の司会で開会し、中本大会会長の「2019印刷産業夢メッセは、皆さまのご協力により盛況で終えることができました。今日はゴルフで親交を深め、楽しいゴルフをしましょう」との挨拶の後、OUT・IN 9時50分に同時スタートした。

成績は以下のとおり。(敬称略)			ネット
優勝	宇田 謙二	FFGS(株)	69.0
準優勝	秀浦 忠利	(株)秀巧堂	72.6
3位	中本 俊之	(株)中本本店	73.6
バスグロ	秀浦 忠利	(株)秀巧堂	81



お知らせ

老若男女、誰でも、下手と思われる方でも参加できます。

このゴルフ大会は、印刷産業関連業界にたずさわる、どなたでも参加できます。次回はあなたも参加してグリーン上での交流を深められたらいいでしょうか。大勢の参加をお待ちしております。

「夢メッセ」基調講演

歴史に学び、未来を読む

加来 耕三 氏

加来耕三です。本日はお招きいただきましてありがとうございます。相変わらず先行きが見えない状況で、このところ非常に歴史の講演会への出演依頼が多いです。

それでは、「歴史に学び、未来を読む」と題した内容に入ります。日本人が歴史を活用できない最大の点は何か、結果しか知らないということです。なぜその史実が起こったのかも考えず、プロセスがどうなのかも考えません。とにかく終わったという結論部分だけを知っているわけです。物事は何でも、本質を見なければ事はわかりません。

講演中に参加者から「もし、経営者に求められる、生まれながらの素質というものがあれば、役に立つ素質がありますか」とよく聞かれます。私は1つあると思います。それは「楽天性」です。悲観的な人間と楽天的な人間がいるとするならば、楽天的な人間の方が物事はやりやすいです。幕末の明治維新にも西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允の3傑がいました。この3人の中で1番楽天的だったのが、実は大久保利通です。大久保は、非常に楽観主義者でした。暗かったのは残りの2人です。



明治維新の時、こんな話がありました。木戸は何と言ったかと言いますと、「日本は欧米のような国にはなれない。100年経っても200年経っても無理だ」。無理だと言いながら彼は、西南戦争の時に亡くなりましたが、同じ質問をされた大久保は、「そんなことはない。蒸気機関車がつくれなければ買ってくればいい。蒸気船がないならば買ってくればいい。そのうち故障するだろうから、向こうの人間が来て修理する。その修理を横で見えていたらそのうち覚えられるだろう」というのが大久保の考え方なのです。

次に、戦国時代の信長、秀吉、家康の3人の中で、誰が1番リーダーとして優れているかという話ですが、リーダーに求められる資質は、一体1番は何だとお考えになりますか。私は、もし歴史学的な見地からリーダーに求められる1番の素質を求められるならば、「大局観」だと考えます。どれだけ先を見通すことができるか。この能力ほどリーダーに求められるものはないのではないのでしょうか。信長、秀吉、家康の3人の中で、1番大局観を持った人間は誰かと考えると、信長だと思います。信長がもし本能寺の変で殺されることがなければ、彼はフランスの分権制に近い形で明治維新の手前までいくことができた可能性があったと思います。それ程の斬新さを彼は持っていました。

仮に、信長の大局観を100とすると、秀吉は真似をした程度なので10、家康はというと0です。ところがそうになると、歴史の世界では困る問題が出てきます。お考えください。信長は、天下布武の手前まで、王手をかけたところまでを仮に入れても一代です。豊臣は天下を取って二代です。徳川は、265年の泰平を経てきて、15人の将軍を出しました。そうすると、

**「品質管理の原点」は
注意力・集中力・判断力の
三要素に集約されると心得て、努力し勤めています！**

有限会社 エガワセイホン

〒733-0012 広島市西区中広町2-25-12 TEL 082(233)1500

大局観をも上回る、それぞれ、最強最大のリーダーシップに必要なものがなければ説明できないことになりま
す。家康だけが持っていて、信長、秀吉には足らなかつたもの。彼だけが持っていて、これがあるが故に、他の英雄を押して家康は日本の英雄になれたという、最



強で最大の要因は何かということなのですが、私は、「寛容さ」こそが、家康だけが持ちえた、天下人になり得た、最高で最大の条件ではないかと考えています。

大局観こそリーダーシップの要件だと申しあげました。今は時代の流れが非常に速いですから、10年先を見通せ、なんて申しません。もう5年、3年でも結構です。会場の中で3年先を確実に予言することのできる方がいらっしゃれば、部下の方はどんな性格の人でもついてきます。しかし、家康には、この1番重要な大局観が無いのです。無いのだけれども、家康はこの段階で、信長に伍して、次の時代を生き残りたいと考えました。残されている方法は限られてまいります。大局観を持っている人間を寛容に養うしか実は生き残る方法は無かったです。この大局観と寛容さというのは、表裏一体の関係です。自分には大局観100あるならば、寛容さが0でも部下は多分ついてきます。しかし逆に、明日どうなるかわからない。全く自分には未来が読めないという方が会場にいらっしゃったとしても、家康並みの寛容さを発揮することができれば、それでも組織は動きます。家康だけがこの寛容さでもって、例外的に英雄になり得た人であります。そのことを実証しているような小説や大河ドラマは見たことがありません。

少し脱線をお許しいただきますが、地に足の着いた歴史、いわゆる歴史学に、何ごとかを学ぼうと考えるときに、何がいちばん大切かと言いますと、地面にっ

かり足の着いた常識を、どれだけ踏まえることができるか、これが、一番難しいことです。言い方を変えると、一見、常識のごとくみえる社会通念や、習慣・風習を、どれだけ見破ることができるか、これができるようになかなかできません。寄るべきは、常識です。しかし、疑ってかからなければいけないのも、一見、常識のごとくみえる社会通念です。この真ん中にあるのが、歴史学という学問だとお考えいただければ、あるいは、多少は理解されやすいかもしれません。

本日、皆様にお聞きいただいたかった点は、たったの3点しかありません。歴史を、日常生活やお仕事の上で活用していただくためには、まず「気付く」という行為をしていただかなければなりません。何か昨日と違うなという気付きを、家庭であれ、職場であれ、まず、それを持っていただけるかどうかにかかってくるわけです。何か違うな、という感覚を持たれたならば、いよいよ歴史が動き出します。



1つ目として本日申し上げましたのは「歴史を疑ってかかっていたきたい」ということでした。多くの皆様が歴史に接せられますのは、それぞれ、感動的な作品に出会われたときだと思います。感動された場面に行きあわせましたら、一度そこで立ち止まっていたきたいのです。今、あなたが感動されたのは、歴史的事実なのか、それとも、著者の作り話なのかを、一度分けて考えていただきたいのです。その時使っていたのが、以下の2つです。

左右のバランスに崩れはなかったか。一見飛躍して見えることにも、物事には必ず裏付けがあります。裏付けが取れた話なのかどうかを考えながら、成り立ったと思うことと、成り立たなかったと思うことを、ここで分けていただきたいのです。そのうえで、著者を

東京インキの印刷関連機材。

H液プロテックシリーズ
ジャイロクロス(自動洗浄布)
明治ブランケット、帯電防止剤

広島営業所 / 〒732-0827 広島市南区福荷町5-18 三共福荷町ビル8F TEL (082) 568-4400
本社営業部 / 〒114-0012 東京都北区王子1-12-4 TEL (03) 5902-7625
全国販売網 / 札幌・静岡・名古屋・大阪・高松・福岡

T&K TOKA がお届けする 使いやすさを追求したインキ

BEST ONE **BEST WEB** **BEST CURE**
油性枚葉インキ オフ輪インキ UVインキ

Technology & Kindness

優れた技術を真心をもってお客様にご提供致します。

株式会社 T&K TOKA <http://www.tk-toka.co.jp>
本社 埼玉県入間郡三芳町竹間沢283-1 〒354-8577
TEL 049-258-1611
広島支店 広島市西区商工センター4-6-6 〒733-0833
TEL 082-277-7688

T&K TOKA®

変えて、できれば5冊、無理ならば、最低3冊は読んでいただきたいのです。テーマは人物で結構です。好きな人物を選んでいただいて結構ですが、1冊しか読みませんと、その論旨に取り込まれてしまいます。しかし、同一テーマで3冊読むと、ご自身はどう思うかというのが、はっきりしてまいります。



歴史学は、答えを求める学問ではありません。ご自身の意見を確立する学問です。我々がどれほど努力しても、たった一度の人生しか歩むことができません。しかし、歴史の世界には無数のケーススタディがあります。なぜ、これをお使いになりませんか。なぜ、この人はこの時右に行ったのか、左に行ったらどうなっていたのか、歴史は答えが出てくるのです。この歴史の使い方を、ほとんどの方が知りません。歴史小説を読んで笑っているよりも、よほど価値があると思うのですが、考えようとしません。

さらに2つ目といたしまして、奇跡や偶然という、飛躍する論旨を捨てていただきたいのです。成るものは成ります。成らないものは成りません。この当たり前の理を、これからは、もっとしっかりと、厳しくお持ちになってもらいたいです。歴史学はこの偶然をそもそも認めていません。すべてを必然の中から捉えるのが、歴史学です。出来事には、直接的な原因、必ずそこに具体的なものがあるはずで、そのところを考えないで、うやむやに物を考えても、何ひとつ得るものではありません。

3つ目は、数字を重視した物の考え方は徹底されるべきです。数字が嘘を言った歴史学の世界はありません。

皆様、たった3点です。「歴史を疑ってかかっていたく」「奇跡や偶然という飛躍する論旨を捨てていただく」「数字という最も顕著なものを身近に持っていたく」。この3つのことが叶うならば、歴史学の世界でいう、原理原則を手に入れることが、きわめて容易です。

歴史学の世界には40年周期説があります。日露戦

争の時は、おそらく、近代日本がもっとも輝いた時でありましょう。ロシアの植民地にだけはなりたくない、なんとか生き残りたいと思い、日本人がそれぞれ持てる物を持って戦ったのが、この時(1904年)でした。ところが、そこで止めとけばよかったのですが、おっちょこちょいな日本人は、それを勘違いして広げてしまったわけです。結果、アジアに打って出て、そこから墜落現象が約40年後の昭和20年(1945年)、敗戦の年です。全部失った日本は、そこからひたすら上がっていきました。上がっていったのが昭和61年、株の最高値の価格を獲得した年でした。「ジャパン・アズ・ナンバーワン」です。そして、ここで止めとけばいいのに、日本人はまた、バブルを謳歌してしまいました。お立ち台に乗りながら、全部を失ってしまいました。ここから墜落現象が起こるとすると、40年後は2025年です。このまま墜落していくのか、ここで止まるのか、それは会場の皆様次第です。それも考え次第です。歴史は使う方によって違います。1つの答えしかない、そんな学問ではありません。この会場におられる方の数だけ、歴史の答えが違って来るわけですが、歴史を小説でしか捉えることができないければ、未来を読むことはできません。


心豊かに生きていくには、どうしたらいいかが、今、問われているのではないかと、私は思います。何をしている時、皆さんはいちばん楽しいですか。お子さんの成長を見守っているときですか。それとも、自分が趣味の世界に没頭して、時間を忘れるときこそ楽しいですか。その順番をはっきりさせた上で、一生懸命働きましょうということしか出てきません。この墜落現象を止めることができません。その辺を考えていただきたいというのも歴史学です。



 株式会社 **ムサシ**
中四国支店

中四国支店 〒730-0802 広島市中区本川町2丁目6番11号
TEL 082(232)9261 FAX 082(292)5976
岡山営業所 〒700-0926 岡山市北区西古松西町5番6号
岡山新都市ビル704
TEL 086(245)1081 FAX 086(245)1326
高松営業所 〒760-0079 高松市松縄町1030番地6
サニープレイス松縄202
TEL 087(815)0634 FAX 087(815)1634

印刷・製版・製本機械
各種・関連機械及び材料
各種・省力機械製作 専門商社
諸機械移設・調整・修理
空気調和・換気設備

 **協和精機株式会社**

本 社
〒733-0034 広島市西区南観音町15番1号
事務所・工場
〒733-0024 広島市西区福島町2丁目31-13
TEL(082)232-0419(代)
FAX(082)295-6355

福山支部だより

価値組・第30回バリューズカップゴルフコンペ

先日11月3日(日)、文化の日に福山支部価値組委員会の親睦ゴルフコンペ、第30回バリューズカップゴルフコンペをJFE瀬戸内海ゴルフ倶楽部にて開催しました。今回は30回目の記念大会ということもあり8組30名の方がご参加くださいました。備後エリアだけにとどまらず、中本理事長を始め、広島からも大勢ご参加をいただき、皆さんと楽しく盛大なゴルフコンペになりました。

雨も心配されましたが、降ることもなくコンディションに恵まれ、好スコア続出！。皆さん、和気藹々(わきあいあい)楽しいゴルフになりました。武勇伝も皆さんそれぞれ、いろいろあることと思います。

次回は4月を予定しています。またお声掛けをしますので、よかったです皆さんもご参加くださいね。よろしく願いいたします。(占部)



事務局だより

◎組合のうごき

12月	6日	2022全日本印刷文化典 広島大会 発足式	広島 ガーデンパレス
	11日	環境労務委員会	福山
	13日	中地協理事長会	松江
	17日	夢メッセ集約会議、支部長会議	印刷会館
	20日	印刷営業士技能審査試験	印刷会館
1月	6日	県工組新年互礼会	リーガロイヤル ホテル広島
	9日	備後印刷産業新年互礼会	福山ニュー キャッスルホテル
	10日	呉支部新年互礼会	呉阪急ホテル
	15日	グリーンプリンティング(GP) 担当者説明会	印刷会館
	17日	備北支部新年互礼会	かんぼの里 庄原
	18日	製本工業組合新年互礼会	ホテルセンチュリー21 広島
	19日	DTP技能検定 実技試験	広島コンピュータ 専門学校
30日	経営革新マーケティング委員会	東京	

SCREEN

謹賀新年

商業・出版印刷には、デジタル印刷機。
この一台が、世界の常識をつくる。



輪転式高速フルカラーインクジェット印刷機

Truepress Jet520 HD

オフセットコート紙にも直接印刷が可能。

株式会社 SCREEN GP ジャパン

Webサイト www.screen-gpj.co.jp

中国営業所/082(264)6451 〒732-0824 広島県広島市南区的場町一丁目2-21 広島第一生命OSビル
本社/03(5621)8266(代) 〒135-0044 東京都江東区越中島一丁目1-1 ヤマトネ深川1号館



新たな価値を、生み出すために。

FFGSは本年も、提案力・サポート力にさらに磨きをかけ、
未来を切り拓くイノベーションに挑戦し続けます。

Value from
Innovation

富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社

中国支店 〒730-0045 広島市中区鶴見町4番22号 MKD1ビル 082(249)7155 [ホームページ http://ffgs.fujifilm.co.jp](http://ffgs.fujifilm.co.jp)

For a Vibrant World

未来が色鮮やかであり続けるために。



私たち東洋インキグループは、すべての生活者・生命・地球環境がいきいきと共存する
豊かで色鮮やかな世界の実現に貢献します。

TOYOINKGROUP 東洋インキ中四国株式会社

〒730-0015 広島市中区橋本町10-6 広島NSビル11階 Tel:082-511-3411 Fax:082-511-1601 www.toyoinkgroup.com